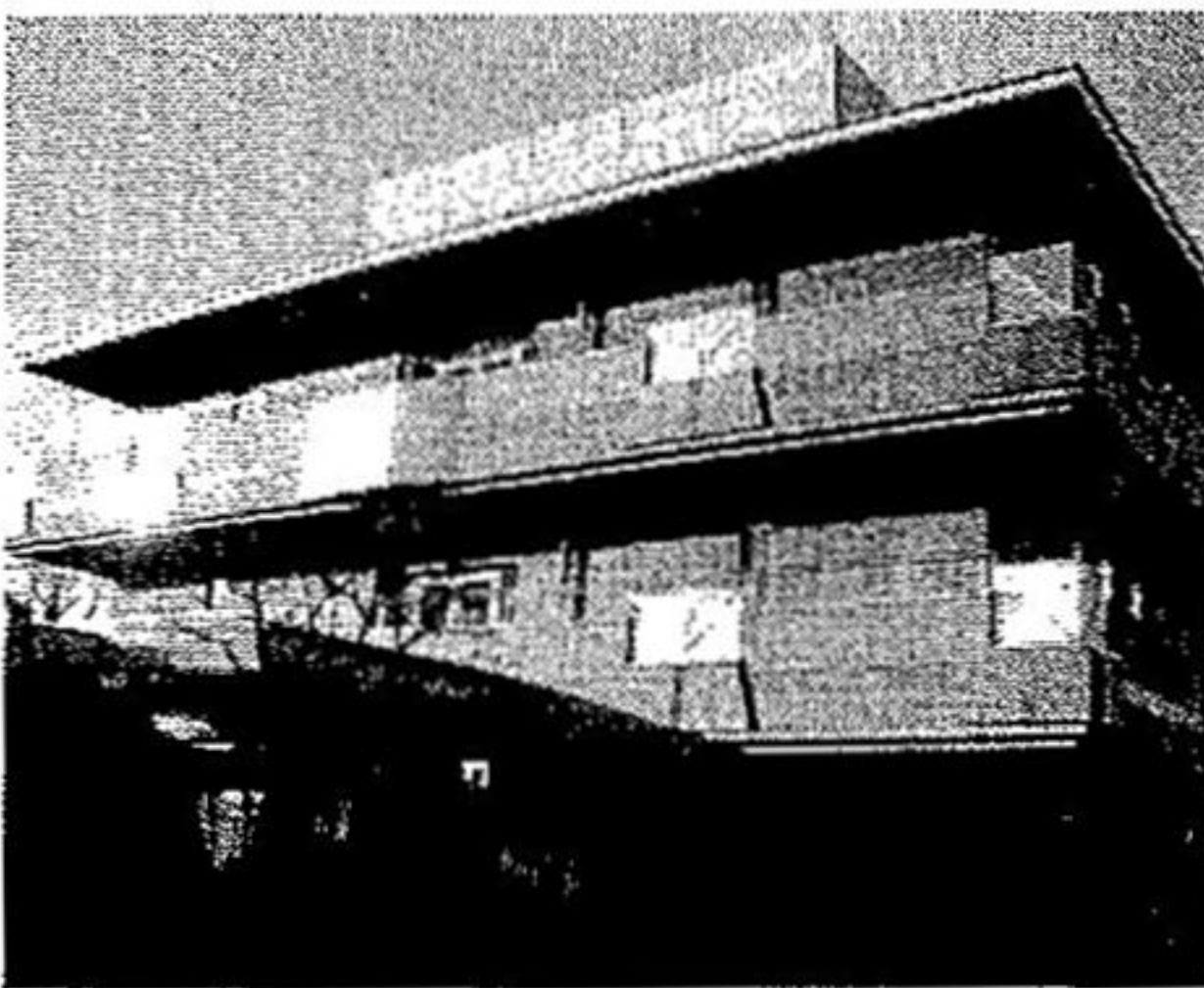


変わる社福  
動く特養

▼事業団が運営する富士見台の特養ホーム



練馬区社会福祉事業団  
富士見台特別養護老人ホーム

都内・練馬区で、特別法人・練馬区社会福祉事業団(東京都練馬区)が運営する特別養護老人ホーム4ヶ所、業団(東京都練馬区)が建てた施設を任されて、社会福祉た施設の運営を任されて

「次回の受託は実績次第」。競争意識を働かせ、様々な改善の取り組みを行っている社会福祉法人のひとつが、練馬区社会福祉事業団(東京都練馬区)だ。練馬区から運営を任されている特別養護老人ホーム「富士見台特別養護老人ホーム」は、50床という小規模ながらも今年度は単独で黒字化を達成。ケア面でも「オムツ外し」などで実績を挙げている。



富士見台特別養護老人ホーム(東京都練馬区)海老根典子施設長

「介護施設運営の受託に迫られている。先はいくらでもあり、しっかりと実績を挙げていなければ、次回の選定では選ばれない」

「介護施設運営の受託に迫られている。先はいくらでもあり、しっかりと実績を挙げていなければ、次回の選定では選ばれない」

いるが、運営受託は更新制。次回の受託が保証されていらない分、事業団は経営面、介護面など、あ

「富士見台特別養護老人ホーム」(練馬区富士見台、分、

「改善策への取り組みあり、全室多床型。その

でもある」と、海老根施設

野に、新規事業部の立ち上げも計画する。

補助金ナシで黒字化達成

同事業団 設長は胸の内を明かす。区の補助金を受けて施設運営を任されていたが、2003年度から完全に独立。以降補助金0円、介護事業を行っていた。その「象徴」となるの意識を向上するなど支出を抑制。今年度から特養事業単体で、黒字化を達成している。

「声掛けはもちろん、緊張感のある環境になり、事業団も大きく変わった」(海老根施設長)

「入居者の排泄に対する野に、新規事業部の立ち上げも計画する。」

競争原理  
作用し改善

「改善策への取り組みあり、全室多床型。その」

でもある」と、海老根施設